

平成29年度 長野県東御清翔高等学校評価表

学校教育目標	中・長期目標
誠実にして勤勉、謙虚にして明朗、平和を愛し、国家・地域社会の有為な形成者の育成を図る。	1 学力の確実な定着を図り、多部制単位制の充実と発展に努める。 2 生徒一人ひとりを大切に、きめ細かな教育を実践する。 3 地域からの信頼を高め、地域を担う人材を育成する。
	今年度の重点目標
	1 日々の学習成果を実感できる授業の実践に努める。 2 いじめ・体罰のない、生徒にとって安心安全な環境を確立する。 3 基本的生活習慣の確立と自律的に行動できる力を育成する。 4 生徒の進路希望実現のための計画的進路指導を展開する。 5 地域との連携・交流と活力ある学校づくりを推進する。

総合評価			
下記の観点にしたがって反省し、4段階に評価し改善を図っていく。			
A	十分な成果をあげた(十分である)	C	あまり成果があげられなかった(やや不十分である)
B	ほぼ成果をあげた(概ね良い)	D	成果があがらなかった(不十分である)

領域	対象	評価項目(関連する重点目標)	評価の観点	評価	成果・課題
教 育	学習指導	(1) 落ち着いた学習環境づくりと授業内容・指導方法の研究と工夫(1)	<ul style="list-style-type: none"> 授業を大切に3・6・9ルール等の指導により、授業に集中して取り組む態度が身に付いたか。 	D	<ul style="list-style-type: none"> 授業に集中できない生徒もおり、指導上の工夫が一層必要である。
			<ul style="list-style-type: none"> 授業内容・授業方法について研究・工夫に努め、生徒が意欲的に授業に取り組むことができたか。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 大学教授等を招いてALの研究授業及び講演会等を年2回開催し、授業改善に役立てている。 授業の工夫と努力ができてはいるが、さらに改善を図りたい。
	(2) 生徒一人一人の能力と個性の伸長(1・4)	<ul style="list-style-type: none"> 少人数・習熟度編成授業や体験型授業を生かして生徒の能力や個性を伸ばすことができたか。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 少人数授業を展開しており、個別指導等、個々への対応は行いやすかった。 今後も研修等を通じて授業改善を進めることが大切。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 読書活動や各種資格試験・検定、校外学習に、生徒が意欲的に取り組み、その成果を認定できたか。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 1年生で漢検や英検に挑戦する生徒が多数見られた。 漢字検定等、もう少し受検者を増やしたい。生徒への呼びかけ、受検に向けた指導に力を入れたい。 	
活 徒 動	生徒指導	(1) 生徒間及び生徒教師間の良好な人間関係の構築(2・3)	<ul style="list-style-type: none"> いじめや暴力、体罰等のない良好な人間関係を築けたか。 	A	<ul style="list-style-type: none"> クラス、授業ともに少人数で行われており、教員の目が行き届きやすい。 職員間の情報共有をさらに進めていきたい。
			<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話やインターネット等情報通信機器の使用方法について正しい知識を持ち、適切に利用したか。 	D	<ul style="list-style-type: none"> 使用制限の必要性を検討し、次年度新たな取り組みをはじめたい。 家庭での使用も含めての指導を検討する必要がある。
		(2) 自律的な判断力・行動力の養成(3)	<ul style="list-style-type: none"> 制服着用のルールを順守し、無断欠席・遅刻・早退・外出をなくし、規律ある学校生活を送ることができるようになったか。 	D	<ul style="list-style-type: none"> 教員による粘り強い指導を続けているが、一部の生徒にルールを守れていない状況がある。 今後も引き続き教員全員で声かけを続けていく必要がある。
			<ul style="list-style-type: none"> 社会人としての意識を持ち、校外においても交通法規や社会のルール、公共のマナーを守れるようになったか。 	C	<ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒は電車の乗車マナーや通学路の歩行マナーに問題がないと思われる。 機会があるごとに公共マナーの順守を呼びかけていきたい。

教 育 活 動	進 路 指 導	(1) 生徒の進路志望の実現(4)	<ul style="list-style-type: none"> 進学希望者の志望校への合格、就職希望者の卒業までの就職先決定が達成できたか。 	A	・就職者の一次募集での決定が多く、進路希望の実現を図ることができた。
			<ul style="list-style-type: none"> 進路指導体制について、校内での意識統一と協力・連携が十分図られたか。 	A	・個々の生徒に対する指導は十分にできたが、組織的な指導体制の研究を進めていく必要がある。
	(2) キャリア教育の充実(4・5)	<ul style="list-style-type: none"> 1～4年次の成長段階に応じた勤労観・職業観を養い、生徒の個々のライフプランニングができたか。 	B	・各年次ともに計画に基づいて進めることができた。 ・今後は「どのような力をつけさせるか、そのためにどのような教育をするか」を軸に進めていけるとよい。	
		<ul style="list-style-type: none"> 就業体験、奉仕体験活動等、地域社会とも連携協力してキャリア形成に必要な能力や態度を育むことができたか。 	A	・各種仕事についている方々やOBの講話、就業体験等を計画し、進路意識の向上を図ることができた。 ・今後さらに外部との連携を進めたい。	
	特 別 活 動	(1) クラブ活動の活性化(3・5)	<ul style="list-style-type: none"> クラブに加入し、日常の活動や、各種大会、行事への参加を通して生徒個々の成長が見られたか。 	B	・定時制北信越大会出場や、全日制大会地区優勝など、各クラブの活躍が見てとれるようになってきている。
			(2) 生徒会活動の充実(3・5)	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会行事の企画運営を通して、コミュニケーション能力や自己表現力等の社会人基礎力を養成できたか。 	A
		<ul style="list-style-type: none"> PTAや地域の諸行事等の校外活動に積極的に取り組み、交流、連携を通して、地域社会への貢献ができたか。 		A	・郊外清掃をはじめ、地域貢献・地域とのかかわりを深める取り組みを進めることができている。
		学 校 運 営	特 色 あ る 学 校 づ く り	(1) 多部制単位制の充実(1・5)	<ul style="list-style-type: none"> 多部制・単位制の特色を生かした教育課程を編成することができたか。
<ul style="list-style-type: none"> 入学者選抜において、本校の特色を理解し学びたいという志願者を確保することができたか。 	B				・昨年度に引き続き多くの受検生に志願してもらうことができた。
	開 か れ た 学 校 づ く り	(1) 広報活動の充実(5)	<ul style="list-style-type: none"> 公開授業、体験入学、学校説明会等を通して、本校への理解を深めてもらうことができたか。 	A	・学校説明会、進路講話、学校訪問、個別相談会など、様々な活動を通して中学生・保護者に本校の特色を理解していただくことができています。
			<ul style="list-style-type: none"> 東御清翔トピックスやホームページなどを通じ、学校の様子を広く知らせることができたか。 	A	・学校の様子等をHP等を使ってその都度発信することができた。 ・清翔トピックスの発行をさらに増やすなど、さらに広報活動
		(2) PTA・同窓会及び地域との交流と連携(5)	<ul style="list-style-type: none"> 学校評議員、地域モニター、及び「東御清翔を育てる会」の提言助言を教育活動に活かすことができたか。 	A	・いただいた提言や助言等については職員会等で職員間で共有し、各校務分掌等での活動に生かしている。
			<ul style="list-style-type: none"> 保護者・同窓会・地域社会に学校の教育活動について周知し学校行事等への理解と協力は得られたか。 	A	・保護者、同窓会の協力を得ながら、諸活動を進めることができています。